



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月9日

上場会社名 株式会社キョウデン 上場取引所 東  
 コード番号 6881 URL <https://www.kyoden.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 清隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 市原 敏明 TEL 03-5747-9622  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 URL <https://www.kyoden.co.jp/investor-relations#news>  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,318	18.3	3,665	2.6	2,264	△13.4	2,329	△11.6	1,593	△11.3
2022年3月期第2四半期	27,309	19.4	3,573	86.5	2,616	169.6	2,634	158.8	1,796	166.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,237百万円 (17.1%) 2022年3月期第2四半期 1,910百万円 (307.7%)

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	32.06	-
2022年3月期第2四半期	36.15	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	62,721	25,367	40.3
2022年3月期	53,412	23,978	44.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 25,257百万円 2022年3月期 23,875百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	17.00	17.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	13.3	5,800	13.8	5,700	11.6	4,100	9.5	82.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	52,279,051株	2022年3月期	52,279,051株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,592,895株	2022年3月期	2,592,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	49,686,156株	2022年3月期2Q	49,686,196株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境概要は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和されたことにより、個人消費や経済活動に緩やかな回復の動きが見られた一方、緊迫する世界情勢に伴う資源やエネルギー価格の高騰、為替相場の急激な変動等により先行きは依然不透明となっております。

このような経済環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比18.3%増の32,318百万円、EBITDAは前年同期比2.6%増の3,665百万円、営業利益は前年同期比13.4%減の2,264百万円、経常利益は前年同期比11.6%減の2,329百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11.3%減の1,593百万円となりました。

なお、EBITDA（営業利益＋減価償却費）を重要な経営指標と位置づけ、今期よりEBITDAを業績指標に採用しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （電子事業）

電子事業全般に関しましては、キョウデンの特色である多岐に渡るアプリケーションに於いて、事務機・精密機器関連を除きすべてにおいて前年を上回る結果となりました。

国内電子事業につきましては、5G・IoT関連需要に伴う受注増加により引き続き堅調に推移しました。主要アプリケーションの前年比は「産業機器（半導体製造装置／産業用ロボット／測定器（ネットワークアナライザー等）他：30%増」、「インフラ系（セキュリティー監視カメラ／社会インフラ）他：27%増」「通信／IoT関連機器：16%増」となっております。海外電子事業につきましては、緊迫する世界情勢による資源価格の高騰等あったものの売上は堅調に推移しました。

このような環境下のもと、電子事業全体の売上高は前年同期比17.9%増の25,499百万円、EBITDAは前年同期比2.6%増の3,068百万円、セグメント利益に関しましては、中期経営計画における設備投資により償却費が452百万円増加し前年同期比17.4%減の1,773百万円となりました。

今後の見通しに関しましては、当第2四半期連結累計期間はほぼ予算通りに推移しましたが、通期としましては海外電子事業においてコロナ等や車載関係の影響が懸念されるものの、国内電子事業において得意分野であるプリント配線基板の強みを生かし引き続き堅調に推移する予定であり、電子事業全体では海外電子事業の弱含みを国内電子事業が牽引していく見込みです。

なお、業績予想に関しましては通期で開示しておりますが、今期につきましては下期偏重で推移することを見込んでおります。

#### （工業材料事業）

工業材料事業につきましては、国内製造業の緩やかな生産活動の回復継続や資源価格の上昇を背景に、ガラスファイバー原料製造、金属系原料・窯業原料の仕入れ販売事業の売上が伸びたほか、一般的に堅調に推移しました。一方で急激に円安が進んだことで原材料・エネルギー価格が上昇しており収益を下押しする状況が続いています。その結果、売上高は前年同期比20.2%増の6,818百万円、EBITDAは前年同期比2.4%増の597百万円、セグメント利益は前年同期比4.8%増の491百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は62,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,308百万円増加しました。主な増加は、現金及び預金の増加562百万円、売上債権の増加1,375百万円、棚卸資産の増加3,320百万円及び有形固定資産の増加4,059百万円であります。

負債の残高は37,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,920百万円増加しました。主な増加は、支払手形及び買掛金の増加776百万円及び借入金の増加6,288百万円であります。

純資産の残高は25,367百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,388百万円増加しました。主な増加は、利益剰余金の増加748百万円及び為替換算調整勘定の増加659百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は7,140百万円（前連結会計年度末は6,578百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は515百万円（前第2四半期連結累計期間は1,567百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,329百万円、減価償却費1,401百万円、棚卸資産の増加額3,131百万円及び法人税等の支払額794百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は4,349百万円（前第2四半期連結累計期間は785百万円の使用）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出4,412百万円及び固定資産の売却による収入64百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は5,159百万円（前第2四半期連結累計期間は2,641百万円の使用）となりました。これは主に、借入金の純増加額6,288百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出162百万円及び配当金の支払額846百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,578	7,140
受取手形、売掛金及び契約資産	15,139	16,329
電子記録債権	3,038	3,222
商品及び製品	2,860	4,527
仕掛品	3,293	3,872
原材料及び貯蔵品	4,226	5,300
その他	739	753
貸倒引当金	△136	△156
流動資産合計	35,738	40,990
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,580	4,109
その他 (純額)	11,821	15,352
有形固定資産合計	15,401	19,461
無形固定資産		
	255	291
投資その他の資産		
その他	2,171	2,137
貸倒引当金	△155	△159
投資その他の資産合計	2,016	1,977
固定資産合計	17,673	21,731
資産合計	53,412	62,721

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,279	9,055
電子記録債務	1,658	1,453
短期借入金	5,700	10,311
1年内償還予定の社債	180	120
1年内返済予定の長期借入金	2,345	1,965
未払法人税等	769	696
賞与引当金	444	668
その他	3,252	4,323
流動負債合計	22,627	28,594
固定負債		
社債	60	—
長期借入金	3,066	5,123
役員退職慰労引当金	8	6
退職給付に係る負債	2,787	2,859
その他	883	770
固定負債合計	6,806	8,760
負債合計	29,433	37,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	16,634	17,382
自己株式	△491	△491
株主資本合計	24,675	25,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	53
為替換算調整勘定	△885	△226
退職給付に係る調整累計額	10	7
その他の包括利益累計額合計	△799	△166
非支配株主持分	103	109
純資産合計	23,978	25,367
負債純資産合計	53,412	62,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)
売上高	27,309	32,318
売上原価	21,736	26,787
売上総利益	5,572	5,530
販売費及び一般管理費	2,956	3,266
営業利益	2,616	2,264
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取賃貸料	6	7
為替差益	—	56
補助金収入	71	—
その他	94	94
営業外収益合計	175	161
営業外費用		
支払利息	34	36
為替差損	44	—
固定資産廃棄損	35	—
その他	42	60
営業外費用合計	157	96
経常利益	2,634	2,329
税金等調整前四半期純利益	2,634	2,329
法人税、住民税及び事業税	801	697
法人税等調整額	28	27
法人税等合計	829	724
四半期純利益	1,804	1,604
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,796	1,593



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,804	1,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△22
為替換算調整勘定	101	659
退職給付に係る調整額	14	△3
その他の包括利益合計	105	632
四半期包括利益	1,910	2,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,902	2,226
非支配株主に係る四半期包括利益	8	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,634	2,329
減価償却費	956	1,401
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	194	224
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	23
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	35
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	34	36
売上債権の増減額 (△は増加)	△964	△976
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,342	△3,131
仕入債務の増減額 (△は減少)	889	256
未払金の増減額 (△は減少)	△69	32
その他	14	85
小計	2,357	312
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△35	△35
法人税等の支払額	△756	△794
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,567	△515
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△793	△4,412
固定資産の売却による収入	10	64
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△785	△4,349
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△483	4,611
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△1,327	△1,322
社債の償還による支出	△120	△120
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△210	△162
配当金の支払額	△501	△846
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,641	5,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	82	267
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,777	562
現金及び現金同等物の期首残高	8,680	6,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,903	7,140

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	21,634	5,675	27,309	—	27,309
外部顧客への売上高	21,634	5,675	27,309	—	27,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,634	5,675	27,309	—	27,309
セグメント利益（注）	2,147	469	2,616	—	2,616

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	25,499	6,818	32,318	—	32,318
外部顧客への売上高	25,499	6,818	32,318	—	32,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,499	6,818	32,318	—	32,318
セグメント利益（注）	1,773	491	2,264	—	2,264

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。